

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成31年2月28日

事業所名 長門市児童デイケア・センターあゆみ 保護者等数(児童数) 回収数 23名 割合 88%

| | チェック項目 | はい | どちらとも いいない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた 対応 |
|------------------|---|----|---------------|-----|-------|-------------------|--|
| 環境・ 体制整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 19 | 1 | 2 | 1 | 狭い | 活動スペースは狭いのですが、場所の意味を明確化し子どもたちが選択し活動できるスペース作りを意識作っています。なるべく園庭やプレイルームで自由遊びを使用するようにし、体を十分動かせるような工夫をしていきたいと考えています。 |
| | 2 職員の配置数や専門性は適切であるか | 17 | 2 | 0 | 4 | | 今後も研修や現場での経験を積みながら、専門性を高めていきたいと思います。 |
| | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がい の特性に応じ、事業所の設備等は、バリア フリー化や情報伝達等への配慮が適切にな されているか | 20 | 0 | 0 | 2 | | 発達特性や障害特性に合わせた環境設定ができるよう考えて参りました。今後とも、子どもたちが生活しやすいような環境設定を考えていきたいと思います。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境 になっているか。また、子ども達の活動に合 わせた空間となっているか | 19 | 3 | 0 | 1 | 洗濯場、トイレまわりの香りがきつい | 常に換気を心がけておりますが、洗剤等の香りへの配慮が足りなかったこと、申し訳なく思います。香りを含め不快が少ない場として検討していきたいと思います。 |
| 適切な 支援の 提供 | 5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に 分析された上で、児童発達支援計画*2が作 成されているか | 21 | 1 | 0 | 1 | | 子どもや保護者の個々のニーズを把握し計画を立てられるよう、層努力して参ります。 |
| | 6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイ ドラインの「児童発達支援の提供すべき支 援」の「発達支援(本人支援及び移行支 援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援 内容から子どもの支援に必要な項目が適切 に選択され、その上で、具体的な支援内容 が設定されているか | 20 | 1 | 0 | 2 | | 個々に応じた支援計画を作成できるよう保護者の方と話し合い、子どもたちひとりひとりに合わせた支援を考えていきたいと思います。 |
| | 7 児童発達支援計画に沿った支援が行われ ているか | 20 | 3 | 1 | 5 | | 日々を振り返り計画に沿った支援ができるよう、より一層努力していきたいと思います。 |
| | 8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫さ れているか | 20 | 3 | 0 | 0 | | 活動の内容を詳しくお伝えする機会がなく、申し訳ありません。今後もおたより帳を使用し、具体的にお伝えしていけたらと思います。 |
| | 9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流 や、障がいのない子どもと活動する機会が あるか | 14 | 3 | 1 | 5 | | 申し訳ございません。今後、交流の機会などの企画を考えていきたいと思います。 |

保護者への説明等

| | | | | | | | |
|----|---|----|---|---|---|--|---|
| 10 | 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 21 | 2 | 0 | 0 | | 申し訳ございません。皆様へ丁寧な説明が行えるよう心がけていきたいと思います。 |
| 11 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか | 22 | 0 | 0 | 1 | | |
| 12 | 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか | 18 | 1 | 0 | 4 | | 申し訳ございません。家族支援プログラムが実施できるよう、職員一同研修を積んでいきたいと思います。 |
| 13 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか | 23 | 0 | 0 | 0 | | |
| 14 | 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 22 | 1 | 0 | 0 | | より具体的なご説明ができるように努めて参りたいと思います。 |
| 15 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 16 | 2 | 1 | 4 | | 申し訳ありません。父母会活動などの機会を設けることができておりません。早めに企画・計画をし皆様に参加しやすい体制を整えたいと思います。 |
| 16 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか | 20 | 1 | 1 | 1 | | 相談や申し入れに対し、適切かつ迅速に対応ができなかったこと、申し訳なく思っております。今後 相談しやすい体制を取り周知することで、少しでも相談しやすく迅速に対応できるように検討し、努めていきたいと思います。 |
| 17 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 21 | 1 | 0 | 1 | | 直接、お会いし情報などをお伝えできない保護者の方への配慮が足りなかったこと、申し訳なく思っております。意思疎通や情報をタイムリーにお伝えするための方法を含め、検討し努力していきたいと思います。 |
| 18 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか | 15 | 4 | 0 | 4 | | 今回の自己評価については今年度からの試みとなりました。今後 ホームページや紙面を使用するなどし情報発信を考えて行きたいと思います。 |
| 19 | 個人情報の取り扱いに十分注意されているか | 16 | 2 | 1 | 4 | | 個人情報の取扱については、十分配慮をするよう心がけておりましたが、配慮がたりない点があったこと申し訳なく感じております。再度、取扱の見直し及び管理の徹底を図っていききたいと思います。 |

| | | | | | | | | |
|---------|----|--|----|---|---|---|----------------------|--|
| 非常時等の対応 | 20 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。 | 9 | 3 | 3 | 8 | 防犯マニュアル、訓練についてはわからない | 防犯については検討しておりませんでした。今後検討をして参ります。緊急時・感染症のマニュアルについては作成しております。しかし、保護者の方への周知ができておりませんでした。詳細については書面にてお伝えしていきたいと思っております。 |
| | 21 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 11 | 3 | 0 | 0 | | 火災と地震について避難訓練を毎月行っております。その時の様子や避難時に使用している手順書・動画について機会を設け保護者の方へお伝えしていきたいと思っております。 |
| 満足度 | 22 | 子どもは通所を楽しみにしているか | 23 | 0 | 0 | 0 | すごく喜んで行っています | ありがとうございます。私達も嬉しいご意見となりました。今後とも、楽しみに通所して頂けるよう努めて参りたいと思っております。 |
| | 23 | 事業所の支援に満足しているか | 21 | 2 | 0 | 0 | 言語療法士が見つかってほしい | 言語指導が早期に開始できるよう、継続して言語療法士の確保に向け努めて参ります。スタッフはまだ未熟ですが、子どもたちの成長を保護者の方と共有することを楽しみに日々頑張っているつもりです。至らない点もあると思っております。今後とも一層努力して参りますので、宜しく願いたします。 |

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。